3月 行事予定

今夕のご縁日

ご宝号 南無待乳山稲荷大明神

3/2 日曜日 11:00~

稲荷祭（いなりさい）

待乳山にお祀りされている稲荷尊を供養する法要を執り行います。
家内安全・商売繁盛・除災招福のご利益をお授けします。



ストラップのお守りを授与いたします。

【寺務所にて受付中】
講金：¥2,000



婦人講（ふじんこう）

3/20 木・祝日 11:00~

講金 2,000円 【寺務所にて受付中】

・関東大震災後に本堂再建のためにご婦人を中心に発足された歴史ある講中です。性別問わずどなたでもお申込みできます。
・講に申し込まれた方には供物と御守をお授け致します。是非お申し込みください。



月間行事

朝まいり会
3月1日~7日　午前8時~8時半　会費：500円也
毎日お出でになれなくても１週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会
3月9日（日）　午前10時・午後1時　会費：500円也
お経を一文字一文字丁寧に写すことにより仏様の功徳をいただけます。

日曜勤行
3月9日（日）　午前9時　参加費無料
初心の方も気軽にご参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要
3月25日（火）　午前11時　法要料：5000円也
皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。
ライブ配信も行います。そちらもどうぞご利用ください。

坐禅の会　※予約不要になりました
3月22日（土）　午前9時半~10時半　参加費：500円也
僧侶より説明を受けながら坐禅修行の体験ができます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。当日直接お越しください。
定員：50 名

ライブ配信のご案内（配信QRコード）
御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は **ityou@matsuchiyama.jp** までメールをお送りください。

待乳山聖天

いちょう

2025年3月号
令和7年2月20日発行/No,387

発行所：待乳山 本龍院
〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1
☎ 03-3874-2030

「素直に信仰する」

総務部長　杉本真海



私たちは日々の生活の中で、自分を守るために思わず言い訳をしてしまうことがあります。たとえば、仕事でミスを指摘されたときや、家庭でのちょっとした注意に対して、『そんなつもりじゃなかった』『自分は正しくやったつもりだ』と反射的に言い訳をしてしまうことはないでしょうか。

その背景には、「自分は間違っていない」「自分は悪くない」と必死に自己正当化しようとする心理や、「常に完璧でなければならない」「失敗は許されない」という社会的なプレッシャーなど、様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられます。このような状況では、自分の弱さや不完全さを認めることが難しくなり、余計な言い訳をしてしまうことがあるのです。

般若心経に説かれる「色即是空、空即是色」の教えでは、すべての現象は固定された実体を持たず、縁によって生じ、常に移ろいゆくものとされています。私たちの価値観や考えもまた、縁によって形作られたものであり、それを絶対視し執着することで他者の言葉を受け入れられなくなれば、自己と他者の間に摩擦を生じさせ、心の平安を乱してしまうでしょう。

とはいえ、自分の考えを手放し、素直に受け入れることは決して容易なことではありません。自分の考えを大切にしたいという気持ちは誰にでもあるものです。だからこそ、まずは聖天様に向き合うときだけでも、素直な気持ちで、自分の考えにとらわれずに祈ることを心がけると良いのではないでしょうか。たとえば、『自分が正しくあってほしい』という思いを手放し、ただ聖天様に『どうあるべきでしょうか』と問いかけることから始めてみるのもよいでしょう。人に対して素直になることが難しくても、聖天様の前でだけは、自分の心を偽らずに向き合う。そうした習慣が、やがて日常の中でも素直な心を育むことにつながるはずです。

密教では、煩悩をなくすことを目的とはせず、それとうまく付き合いながら、よりよい心のあり方を持つことが大切だと考えます。怒りや執着を完全になくすことはできませんが、それに囚われすぎず、少しずつ手放していくことで、心は軽くなり、日々を穏やかに過ごせるようになります。素直な心を持ち、聖天様とともに歩むことで、より豊かな人生が開かれていくことでしょう。

用語コラム

「お礼参りの大切さ」　水谷洸祐

神社仏閣をお参りされる時、「家族みんなが平穏無事に送れますように」「商売がうまくいきますように」などと願い、その願意のお札やお守りを求められる方も多いでしょう。神仏は皆さまお一人お一人の願い事をしっかりと聞いてくださり、それに応じてご利益を授けてくださいます。

願意を聞いてくださり、ご利益を授けてくださった神仏に対して、その後の報告やお礼をされていますでしょうか。

神仏からのご加護やご利益を頂いたのなら、その報告とお礼を申し上げなくてはなりません。人にお世話になったらご挨拶に行くように、神仏に対しても必ずお礼参りをすることが大切です。自分の都合で願うだけ願って、礼を欠く人間ではいけません。「ありがとう」「お陰さまで」というような、その感謝の気持ちをもってお礼参りをしていただきたいと思います。また願い事は、必ずしも皆さまの望んだような形で成就するとは限りません。望んだ願いと違う結果が出たからといってお礼参りを疎かにしてしまう人もいるかもしれません。しかし、仏様や神様は別の形で必ず皆さまを幸せな方向へと導いて下さいます。それに対してお礼をするべきでしょう。その時に古いお札やお守りをお納めし、新しいお札をお受けして所定の場所へ安置してください。お札やお守りは買うものではありません。授かるものだとご理解下さい。本龍院では浴油祈禱をはじめとして、年のかわり目や、月ごとの縁日に札守りをお授けしております。お礼参りをされた際には、古きを納め、新しきものを授けていただいたらよいと思います。



ご案内

日帰り信徒旅行のご案内

6月14日（土）に日帰り信徒旅行を計画しております。
詳細は次号でお知らせいたします。

寺務所改装について

2月10日より、寺務所の改装を行っております。
3月7日からは新しい寺務所での受付を開始いたしますが、それまでは仮寺務所にて対応いたします。
ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。

ご報告

「節分会豆まき大法要」

2月 2日（日 ）節分会が執り行われました。
【年男御芳名（敬称略 ）】
細川 好太郎、竹中 輝夫、橋本 和夫、上嶋 三千和、瀧 政崇
神﨑 義己、岩崎 顕悟、宮田 忍、飯塚 実、大野 晃央、上嶋 聖人
柴田 達之、佐久間 英一、齋藤 浩章、渡邊 一栄、久保田 雅大
中山 一雄、橋本 朔、綾部 修治、内田 篤志、武江 伸孝、武江 臣玄
戸塚 陽紀



「朝まいり会正五九法要、お斎食を行いました」

1月の朝まいり会の最終日の 1月 14日、朝まいり会の後に御斉食を 4年ぶりに開催いたしました。
御斉食の後、朝まいり会を通しての聖天様とのご縁に感謝をする御礼の百味法要を執行いたしました。



「百味講」

1月 20日、百味講法要を執行いたしました。その後、正月の期間に内陣にお祀りをしていた毘沙門天様の法楽を執り行いました。





「煎茶道黄檗売茶流初煎会」

1月 18日（土）、大広間において煎茶道黄檗売茶流の初煎会が開催されました。



「たけした事務所」

2月 8日（土 ）たけした事務所様の厄除け法要を執り行いました。
たけした事務所様は毎年当山で厄除け法要を行っており、本年も 200名を超える方のお申込みがありました。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。
当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。
またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千円（一週間）
浴油祈祷 四千円（一週間）
華水供 六百円（一日）

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。